



～家の中の危険をチェックしてみよう～

命を守る、けがを防ぐ、避難する、事前の対策が明暗を分けます。

阪神・淡路や能登半島の大地震で犠牲となった方の多くは、建物や家具などの下敷きによる圧死や窒息死でした。また、松田町においても、8月9日（金）に震度5弱の地震が発生し、いつ大地震が起きてもおかしくない状況です。大地震のとき、家具やインテリアが凶器になることを理解し、対策を取りましょう。

リビング・ダイニングでの対策

- テレビは低い位置に置き固定していますか
- テーブルなどの脚を固定していますか
- 上下で分かれている家具を連結していますか
- 食器の下に滑り止めマットを敷いていますか
- 冷蔵庫は壁に固定していますか
- 調理器具は出しっぱなしにしていませんか
- 食器棚などの扉に留め具を付けていますか



寝室での対策

- 寝るときはカーテンを閉めていますか
- 寝床に家具が倒れないよう配置していますか
- 雑貨などは整理収納していますか
- タンスはストッパーで固定していますか
- ライトを近くに置いていますか
- 履物を備えていますか



地震で火災が発生する



地震が発生した後、火災が発生する原因として「電気火災」があります。「電気火災」とは、電気製品や配線類などが原因となって発生する火災のことです。

この「電気火災」を防ぐために感震ブレーカーを設置しましょう。

感震ブレーカーは、強い揺れを感じたときに、電気を自動的に止める機械です。感震ブレーカーを設置し、「電気火災」を防ぎましょう。

町では、**感震ブレーカーを無償配布**していますので、ぜひお申し込みください。

申し込みは、役場3階の安全防災担当室にて受け付けています。

申し込み終了後、すぐに感震ブレーカーをお渡しします。



詳細はこちら